

長崎市提案型協働事業 中間報告会・2次審査会 アンケート集約

性別	年齢	事業名				提案型協働事業に関してのご意見・ご感想	提案型協働事業に、今後、提案してみたい？（未提案団体のみ）		今回参加してどうだったか？	
		①ワカモノ”SMILE”サポートセンター事業	②団塊シニア世代セカンドビュー応援事業	③地域のおもちゃ箱発掘事業	④「平和を育むこどもプロジェクト」事業		感想	理由	感想	理由
男	50	場所や雰囲気より「人」を意識した意見が多かった所がわかった。友達が出来、他人を意識してる事がわかった。専門家との関係は、どうかの質問にも答えられわかった。	情報誌「ながさきダンカーズ」を発行するだけで(ニュースや新聞、歌もできた)など、このような事で効果があったとは、驚きましたし、参考になりました	子育てが「支援される側」から「支援する側」へ同感だと思います。講座が、5月～7月まで上半期に6回も開催する、大変だと思った	「平和を育むこどもプロジェクト」事業の説明はわかったが、熱意が感じられなかった	公正なる審査をへなければ、合格できないと思った	みたい		よかった	
男	50	中・高生にとって人間関係が、悩みとなり、自信をなくしてしまい、心の病気となりやすいので、ボランティア活動を子供達に参加してみるの？	知識や人生の様々な経験が、今後の長崎市の元気のキッカケとなるのでは	おもちゃ箱は、あくまでも道具なので、心理的な事、つながり、色々あり、発掘できることがたくさんある	市として地区の数ヶ所の小学校に平和の意識、知識、考え方のアンケートをするのもおもしろい	とても団体の思い入れを聞いて良かった	みたい	精神障がい者の自立を進めていきたい	とてもよかった	時間ももっとほしい。もっと聞きたかった。人の思いが幸せを生むのではと思った
女	60	利用者の方の生の感想も匿名で欲しいと思います。	ダンカーズ発行のご苦労がわかった様な気がします	ツールとしてのおもちゃは良いと思う	検定というのは少し違和感があったが、楽しく取り組んで欲しい	提案型協働事業をよく知らなかったので勉強になりました	みたい	学校図書館の改修と市教育委員会と協働でとりくみたいと考えています	よかった	
男	60	アンケート図と説明が、不一致の印象です。アンケート項目はどうなっているのか説明が必要では？今後の取組みが継続して行けるよう、実施団体、行政の課題では？		実施団体の「財務的生存力」が不明。自立した事業となる為の戦略。視点が大変新しい、協働にふさわしいテーマであると思う。	組織の運営力（不安）。従来事業との役割分担がやや不明確では？					
女	50		情報誌から広がる活動として、期待がもてそう	情報の収集をよく行っている。主になって活動してくれる人材の発掘はむずかしそう	平和に関して興味をもって参加できる活動だと思う	団体がやりたい活動、行政がやってほしい活動が、一致するところを情報入手しないとならないため、情報交換の場へ積極的に参加するのを感じた	みたい	団体のみでの活動では、出来ない部分を行政との協働で、質の高い活動を展開できるのではないかと感じた	よかった	今後の活動の目標が見出せるのではないかと
男	60			事業団体が理解しやすいプレゼンであった。行政との連携もスムーズと感じた	「平和検定」の意味合いについて、説明が不足の感あり					
男	50	パワーポイント画面と発表とのバランスが良く判り易いと思います	効果・成果の把握の説明が的確でした	少し説明の分量が多かったように思いました		様々な市民の方々の取り組みを知ることができました			よかった	他の団体の発表手法、パワーポイントの使い方等が参考になりました
男	30	担当課のサポートにより、方向性がブレずに事業が進んでいると感じる。長崎の先進事例として、今後の継続を期待したい	発行へのニーズと団体自身の手応えを強く感じた。年3回への増刊を含め、活動への広がりにますます期待がかかる。	サークルはより身近でコンパクトな学童といったイメージ？学童や子育て支援センターとの連携は・・・関係機関との全体的なビジョンがわかりにくい	個人的には、検定内容が多少、原発への正しい意識啓発にもつながることを望む。（推進、反対にかかわらず）				とてもよかった	
女	40	発達障害とそのまわりのグレーゾーンの子どもと保護者のサポート事業として、今後も取り組みを充実していきたいです	ダンカーズ、興味深く見させていただけました。情報誌の発行だけでなく、その先の目標もしっかりされているので、今後の活動に期待しています		団体自体の活動(運営)について、審査員の方も聞かれていましたが、協働事業の実施と寄せて、団体の自立した運営の基盤がしっかりとしていくことが重要だと思います	行政の職員が、直接関係課にならないと出席しないというのではなく、もっと話だけでも聞く機会として参加者が多い方がいいと思いました。				
女	30	本人達の声からも事業の目的が達成されていることが確認でき、この事業で得た成果を既存事業に反映したり、新たな事業として展開し、継続してほしいと思いました	事業としてはとても良い内容だが、財源の確保が最大の課題だと思いました		今までは、家族に被爆者がいる子どもが多かったため、特に学校等で学ばなくても、家庭の中で平和について考える機会があったのですが、今後はこのような事業が必要になるのだろうなと思いました	各団体のノウハウを知ることができ、協働事業のすそを改めて実感しました				